

令和7年度 美術 各単元（題材）における観点別の評価基準

2 学年

	指導計画及び指導内容	各観点における評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	・デッサン 手を描く ・日本の美術作品の鑑賞・主題に基づき鉛筆で手を描き、見る力や描く力を身に付ける。	・形や色彩の特徴のとらえ方や用具の使い方を理解し、対象を正確に、美しく表現することができる。	・身近なものの形や色彩のよさ、美しさを感じ取り、豊かな発想で、表現方法を工夫することができる。	・スケッチをすることに関心を持ち、意欲的に描くことができる。 ・対象を深く見つめ、感じ取ったことを心豊かに表現している。
	・鑑賞 日本の伝統工芸 ・日本の伝統工芸品について学び、使う目的のあるものの機能と美しさの調和について、見方や感じ方を深める。	・造形的な特徴などを基に、伝統工芸品のイメージや作風などを捉えることができる。	・目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、創造的な工夫などについて見方や感じ方を深めている。	・伝統工芸の歴史や表現の特色などを理解し、生活の中のデザインや工芸に関心を深めることができる。 ・伝統工芸作品を鑑賞し、それぞれの作品の特徴や良さを感じ取りながら取り組んでいる。
2 学期	・空間を彩る光の装飾 ・ランプシェードの制作を通し、紙や刃物の特性・使う目的と機能の美しさの調和について学ぶ。	・伝統工芸や民族工芸のすぐれた点や技術を理解し、ランプシェードの制作を計画的に正しい用具の使い方で進められる。	・材質や機能にあった個性的な作品を求めてアイデアを練り、計画的に表現活動が行える。	・工芸作品の材料の長所や短所を知り、鑑賞活動を通して作品制作への興味、関心を高めている。 ・ランプシェードのそれぞれの作品に見られるすぐれた点や苦心のあとを理解し、自らの作品制作に生かしている。
	・イメージを形にすると ・抽象的な彫像の制作を通し、主題を生み出すこと・用具や材料の特性・制作の順序を考える。	・彫像の特性を理解し、用具や材料を適切に使い、制作の順序を総合的に考えて表現することができる。	・対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生み出し、造形的な効果を考え構想できる。	・彫像の制作に興味をもち、意欲的に、根気強く取り組むことができる。 ・伝統的な作品の良さを理解し、積極的に自身の制作に生かしている。
3 学期	・思いが飛び出すカード ・ポップアップカードの制作を通し、紙や刃物の特性・伝達の効果と美しさなどの調和について学ぶ。	・形や色彩、紙などの性質やそれらが感情にもたらす効果を理解し、用具の特性を生かして表現できる。	・伝達の効果と美しさなどの調和を考え、どのようなカードにするか構想できる。	・多様なものの見方を持って発想し、デザインを工夫しながら、制作への意欲を高めることができる。 ・多様な表現の違いや良さに気づき自分の作品のイメージを創造できている。